

地元学大野台 活動報告

大野台地区は近隣の村落の入会地としての歴史が長く、この地区に人が定住を始めたのは、昭和16年以降のことです。従って近代都市としてのインフラが整備され始めたのは、そのずっと後になってからのことでした。

開発が遅れた理由は、大野台地区は高台で、生活に必要な水が得られなかったからです。水を送り届ける技術が未開発だったのです。今や70万人を超える相模原市の中でも急速に開発された住宅地、商業地となり、今後も更に発展が見込まれています。



地元学大野台は平成19年4月より活動を開始。
地元大野台に関わる「自然」・「歴史」・「文化」・「人物」・「産業」など自分たちの目と耳と足で調べ、まとめ、記録する活動を行っています。こうした活動は地域の人々の「生涯学習」と「啓蒙・連帯・人づくり」を推進するものです。

これまでの活動報告から…(抜粋)



道

「大野台の斜め道」

大野台には、1本すじかいのように斜めに通った道があります。我々はこの道を「大野台の斜め道」とよぶことにしました。なにげなく通る道にも実は歴史があったのです。

「明治15年頃の大野台斜め道」

明治15年に出版された陸軍の迅速日本地図では、斜め道は北は当麻山道、南は大野山道(道者みち)と交差し、更に大沼新田まで通じる主要道として示されています。この当時、大野台斜め道は周辺の村落の人々がこの道に沿った耕作地を行き来したり、収穫物を運搬するために大切な道であったことが想像できます。

この頃の当麻山道と大野山道

大野山道(道者みち、磯部道)

江戸時代から比べると参詣者の数はやや減りましたが、大山参詣はまだ盛んに行われ、この道は府中方面からの大山参りの道として機能していました。途中にある相模川の磯部の渡しは座架依橋が昭和34年に完成するとその役割を終えました。

当麻山道

当麻山道を参詣する人の数が減少してきました。上に示した明治15年の地図にはまだ主要道として残っていますが、江戸時代から比べると通行人の数は大幅に減ったと思われます。しかし当麻山を過ぎたあたりにある当麻の渡しは上溝方面からくる八王子道(この道も大山道という)の厚木方面へ行くために相模川の重要な渡しでした。

大野村の発足 淵野辺村から大野村へ

明治22年の町村制施行により、上矢部村、矢部新田村、淵野辺村、鶴野森村、上鶴間村の5村が合併して大野村となりました。(大日本帝国憲法発布の年)

相模野基線北端点
麻溝中学校の西隣にあり、明治15年に日本陸軍参謀本部測量課が日本で最初に設定した三角測量基線の端点。

現在の大野台における道者みちの名残り



他にもこんな活動報告をしています。



昔から水を確保するのに大変な苦勞をしてきた相模原台地。その水を求めた歴史と現在の水道を考えます。

大野台地区は何もない原野でした。その原野がどのように開拓され今日のようになってきたのかをたどります。



開拓史



景観の変遷

大野台地区の景観の変遷を定期的に調べ、これからどのように変わっていくかを見つめます。

つづきはホームページで！

地元学大野台



この活動への参加の申込みは大野台公民館まで！

郷土に誇りを持ち、子どもたちに歴史を語り継ぐ、そんな活動に参加してみませんか？

事業報告

文化部
本格！
蕎麦打ち教室
1月25日(土)



コロナ禍の影響により4年ぶりに開催された「蕎麦打ち教室」も今回で22回目。講師の笠原俊一先生は第1回目から毎回講師を引き受けてくださっています。材料と技術にこだわりを持つ先生のお蕎麦はとても美味しく、先生の人柄の良さも伝わってきます。そんな笠原先生ですが、

部員募集中！

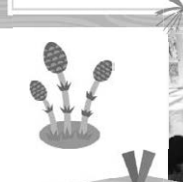
一緒に楽しい企画をしてみませんか？
お問い合わせは大野台公民館まで。



実は50歳を過ぎてからお蕎麦屋さんを始めたそうです。元々は相模原市にお店を持っていましたが、今は横浜でお蕎麦屋さんをされています。お蕎麦作りに興味のある方は今回の蕎麦打ち教室に参加してみたいでしょうか。(取材:N)



健康づくり部
親子で
リトミック
2月13日(木)



青少年部
子どもチャレンジ教室③
森の散策と
花炭づくり&焼き芋
2月15日(土)



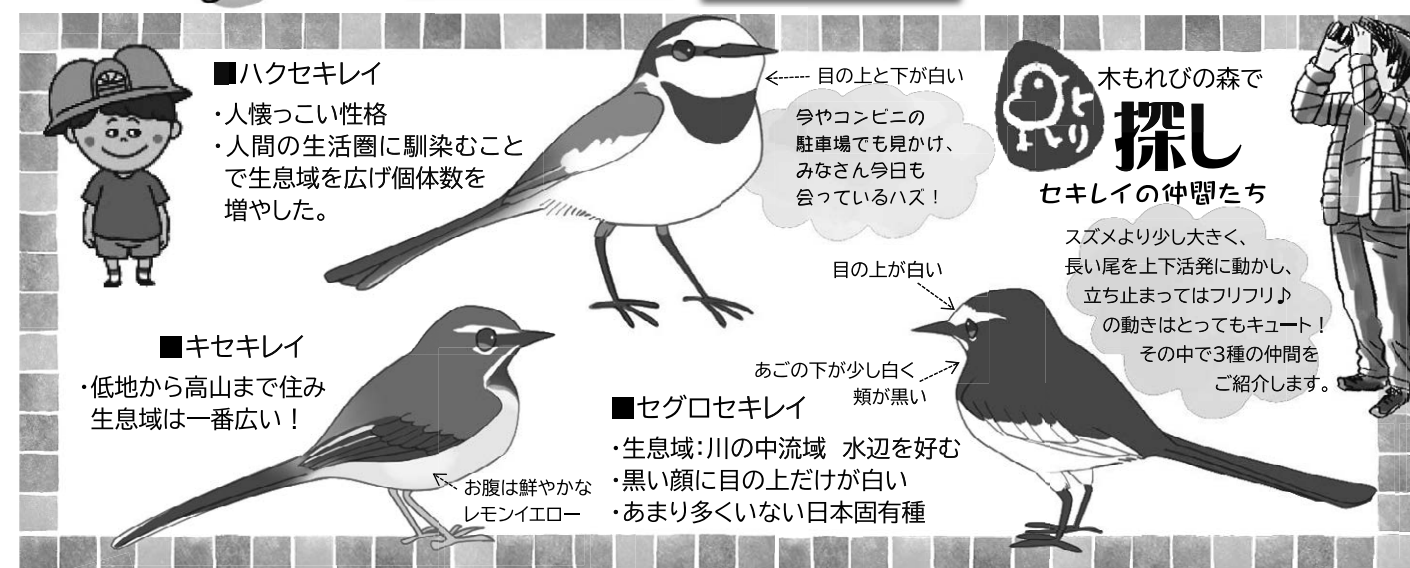
18組の親子が元気に参加。リズムに合わせて楽しく体を動かした後、パラバルーンで会場は大興奮！親子で楽しいスキンシップが出来たことと思います。来年度も親子で楽しく触れ合える事業をたくさん計画中です。是非、また参加してくださいね。(健づく担当)



大野台こもれびふれあい広場に、事前に申し込んだ方々80名ほどが集まりました。開会式の後、お芋を新聞紙とアルミホイル



にくるみ、焚火の中へ投入！そしてお芋が焼けるまでの時間を利用して、「こもももの会」の方のガイドでこもれびの森を散策しました。広場に戻って、折り鶴や松ぼっくりが真っ黒になった「花炭」を見せていただきました。初めて見た子どもたちは壊れないかと大事そうにやさしく触っていました。最後にお芋を1本ずつ受け取って、笑顔！(取材:K)



公民館で

こんなこともできます

保育室の利用

対象：0歳児から未就園児親子
①9時～12時 ②13時～17時

ロビーピアノ

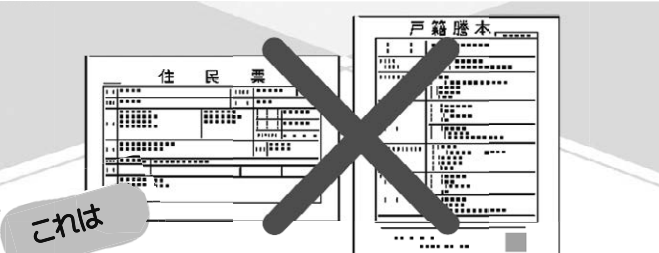
12時～13時
利用者が多い時は時間で交代をお願いします。

学習スペース

中学生以下 ①9時～12時 ②13時～17時
高校生以上 ①9時～12時 ②13時～17時 ③18時～22時
※ただし、③の終了時間は、貸館が20時終了の日は20時まで



・利用できない日：毎月第4月曜日、年末年始 ※公民館で事業を行っている時は使えない場合があります。詳しくは公民館へお問い合わせください。
[R6 利用実績] ■保育室(43件)■ロビーピアノ(89件)■学習スペース(155件)



できなくなりました

3年前(令和4年3月31日)に公民館の建物内にあった「大野台連絡所」が廃止されたことにより、戸籍謄本や住民票などの交付はできなくなりました。大野台地区からは大野中まちづくりセンターが最寄りの機関になります。(TEL042-742-2226 古淵3-21-1)
ご不便をおかけ致しますが、どうぞよろしくお願い致します。

その他、ご不明な点はこちらへ

ちょっとおしえてコール 042-770-7777
午前8時～午後9時 年中無休